シチリア島旅行ガイド

アントニオ・ククッツァ

私の国はシチリア島だ。シチリア島はイタリア南に位置し、不等辺三角形のような形をしている。地中海一大きい島だ。主な県都はパレルモという街で、１８世紀にイギリス人の貴族の若者がいい教育を受けるためにする旅行の最後の行程だった。
国土の６１，４％は丘陵地、２４，５％は山地、１４，１％は平地に占められていて、火山の活動は盛んだ。地中海性気候のため、夏はとても暑く、シロッコで有名だ。それは暖かく、北アフリカから吹いている風だ。国土面積は約2万5千7百十平方キロメートル、人口は約5百万人だ。
見所はいろいろあるがその中でパレルモは歴史や伝統と関係が深い場所が多い街として知られている。アグリジェントという街は大昔古代ギリシャの植民都市（地区）だったので神殿で有名だ。その中でとてもうっとりするようなのはヘラやカストレとポリュデウケスやエフェストなどのために建立された神殿だ。それからエトナ火山やタオルミナの地域は魅力的な所として人気がある。
大昔からいろいろな民族が来、みんな何かを造り残していった。今でもパレルモでそれをすべて見ることができる。フェニキア人に作られた港、アラビア人時代に建て始められ、ノルマンディー人時代に完成されたカッテドラーレ、ビザンティン時代のモンレアレのデュオモ、１７世紀の地下墓所、それらはいろいろな時代の美術や文化に合った歴史的な名所だ。伝統的なことと言えばカッサータや「FRUTTA MARTORANA」（果物のような形をして、アーモンドから作られた菓子）やいわしとパスタというようなおいしく特徴的な料理が食べられ、「VUCCIRIA」（パレルモの方言で「大きな騒音」）や「IL CAPO」などという市場はとても有名だ。
特産物というとパレルモだけではなく、エトナ火山地域の柑橘類、シチリア島のアーモンドやオリーブがおいしく、世界中へ輸出されている。
あとはおもしろいことでトラパニという街のサリネという場所で塩が直接海からとられてうまく精製されておいしくなったものが有名だ。ファヴィニャナ島のまぐろ漁はマッタンツァと言い、島の住民にとっては祭りのようなイベントだ。釣り方はアリストファネス（古代ギリシャの喜劇作家）によって初めて語られた。まぐろの群れが泳ぎながら水流に順応するところをおとしいれるため漁網を水流の方面行に位置しておく。この方法を使って、漁師たちはまぐろをコッポという特別な漁網で集め、鉤型のステッキで殺す。そして服を脱ぐと、血まみれの水の中に飛び込む。日本の漁船は来ないがファヴィニャナ島のまぐろは日本まで輸出されている。
美術工芸品ではパレルモの「CARRETTO SICILIANO」（シチリアの小さい馬車）や「サントステファノ」という街の陶磁器がきれいで、有名だ。